

令和 3年度予算見積調書

課室名: 会計課

担当名: 予算係

内線: 2233

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B14	警察署等冷暖房設備改修費		一般会計	警察費	警察管理費	警察施設費	警察施設維持管理費	
事業期間	平成18年度～	根拠法令	警察法			宣言項目	SDGsゴール	16
					分野施策		SDGsターゲット	16-6
1 事業概要			5 事業説明					
<p>警察署等の冷暖房設備は、耐用年数を超過して使用しており、劣化により種々の故障が発生している。メーカーによる修理対応も経年により対応が困難となってきたことから、計画的な予防保全措置を推進する。</p> <p>また、警察学校のボイラーは、時代の情勢とともに性能過多・ランニングコストの無駄が生じていることから、簡易ボイラーへのダウンサイジング化により、ランニングコストの縮減を図る</p> <p>(1) 冷暖房設備更新 218,140千円 (2) 警察学校ボイラー更新整備等 51,162千円</p>			<p>(1) 事業内容 冷暖房設備更新 218,140千円 ア 冷暖房設備更新 (北部機動センター) イ 冷暖房設備オーバーホール (浦和東、川口警察署、機動センター、本部分庁舎 (上尾)) ウ 中央監視装置更新 (川口警察署) 警察学校ボイラーダウンサイジング等関連経費 51,162千円 エ ボイラー更新経費 熱源供給先の縮小により、簡易ボイラーへ更新 オ 厨房機器更新経費</p> <p>(2) 事業計画 【冷暖房設備更新経費】 ア 令和4年度 イ 冷暖房設備改修 (川越警察署) ロ 冷暖房設備オーバーホール (蕨、小鹿野、加須警察署、交通機動隊) ハ 中央監視装置更新 (蕨警察署) イ 令和5年度以降 個別計画に基づく整備 【警察学校ボイラーダウンサイジング等関連経費】 ア 令和4年度 厨房機器更新 イ 令和5年度以降 個別計画に基づく整備</p> <p>(3) 事業効果 警察署に来署された県民へのサービス、警察署勤務員の執務環境及び被留置者の処遇維持、並びに各種警察システムの効率的な運転を図ることができる。また、省エネ機器へ更新することにより、光熱水費の削減及び環境負荷の低減が可能となり、更新までの期間がある機器について予防保全を実施することで、突発的な高額修繕を抑制し、維持管理経費を削減する。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況								
<p>(1) 地方債の充当率 90%・75% (2) 地付税措置 元利償還金について、その30%を基礎財政需要額に算入</p>								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員なし								
			財 源 内 訳				一般財源	前年との対比
予算額		県 債						
決定額	269,302	268,000					1,302	149,016
前年額	120,286	120,000					286	